

大山崎ふるさと ガイドの会だより

第159号

発行日 令和2年3月10日
 発行元 大山崎ふるさとガイドの会(OFG)
 発行責任者 澤田 僚 一
 連絡先 大山崎町歴史資料館内
 TEL 075 (952) 6288, FAX 075 (952) 6289
 URL <http://www.kyoto-ofg.org/>

「おもてなし準備委員会」の報告

おもてなし準備委員会委員長 栃尾 勉

2019年度 OFG「特別事業計画」により、大河ドラマ「麒麟がくる」に関連し「おもてなし準備委員会」を設けて「散策マップ」と「ガイドブック」を完成しました。委員を代表して内容と感想を記述いたします。

大河ドラマの放送は1月から始まっています。主人公・明智光秀の前半生の史実は不明とのことですが、大山崎の荏胡麻油売りでも有名な美濃の斎藤道三に仕える青年武将で登場しました。創作とのことですが当時の戦乱で荒廃した様子や時代背景が想像できる内容です。京で出会った娘・駒が幼少期に聞いた「麒麟がくる」の言葉に感動する場面もありました。

今後のドラマの内容は不明ですが、主人公の明智光秀に関係する歴史上の人物などが登場し、明智光秀の履歴や人物像などを表現するものと思います。

しかし、明智光秀の最後のクライマックスは誰が考えても織田信長を討った「本能寺の変」と羽柴秀吉との「山崎合戦」です。これを知らずに光秀も麒麟も語れません。従って、作成するガイドブックなどの内容は「山崎合戦」を中心に、一般説を参考に紹介し、大山崎町をアピールすることにしました。

「散策マップ」のマップ面は山崎合戦の関連地の名所を赤文字で強調し、裏面は「おすすめ散策コース」に「山崎合戦コース」を追加しました。「主な見所」は山崎合戦関連地を紹介し、他に推定の「合戦陣形図」と「合戦の概要説明」などを記載しました。



「ガイドブック」は役場より大山崎町史の山崎合戦にかかわる文や各種写真等の使用許可をいただき、一般説に加えて地元住民目線で考慮した内容としました。更に読者が興味を持つであろうと思われる、天王山設置の「山崎合戦陶板画」に登場する武将の紹介欄を設けました。挿絵は陶板画の絵を利用しています。武将の経歴などは諸説あるようですが、一般説で紹介しました。

他に「山崎城」や「主な見所」の紹介頁を設け、更に「麒麟がくる」の項を設けて、題名がなぜ「麒麟がくる」なのか？明智光秀の人物像から麒麟との関連などを想像し、OFGの見解として記載しました。

さて、読者は制作した資料に喜んでいただけるのでしょうか？ドラマの最後の舞台は「山崎合戦」になるのでしょうか？期待しながら鑑賞しています。

尚、このチャンスにと関係市町は活性化活動をされていますが、当町の取組はなんと歯がゆさを感じています。せめて、我が会はこのらの資料を活用し「おもてなしの心」で頑張りたいものです。

最後に作成・出版にあたり、「京都府地域交響プロジェクト」や「大山崎町の行政」関係者各位にご協力・ご指導をいただきました。心より感謝申し上げます。

1月1日～3月9日までの活動実績

1. 主なガイド	
・1月7日(火) 姫路観光ボランティア・ガイドの会	17名
・1月15日(水) 大阪府高齢者大学校	37名
・1月17日(金) KNT-CT パートナーズ会	31名
・1月31日(金) 豊中町各宮新春参り	109名
・2月19日(水) 大阪バス協会	45名
・2月20日(木) 出前ガイド・大山崎小学校・3年生	94名
・2月27日(木) 大山崎小学校・3年生	94名
2. 会の行事など	
・1月16日(木) 新春のつどい	53名
・1月23日(木) 会員学習会「乙訓の伝説」	35名
・2月19日(水) 会員学習会「久我暇の散策と歴史」	39名
・2月24日(祝) 歴史講演会「近世の淀川舟運と地域社会」	80名

活動予定

主なガイド、行事予定	
・3月24日(火) 株式会社自然総研(中止)	1班
・4月8日(水) 高知新聞観光くらぶ(中止)	3班
・4月16日(木) 令和2年度定期総会	
・4月18日(土) 大阪滋賀県人会	4班
・4月20日(月) 歴史ウォーキング2020春	
・5月15日(金) 京都SKYシニア大学	4班
・5月16日(土) 春の天王山ウォーキング	全班
☆ 大山崎町歴史資料館・小企画展	
3月3日(火)～3月22日(日)「天王山山麓の寺院群」	
☆ 新型コロナウイルス感染予防のため中止した行事	
・2月29日(土) 歴史講演会「近江南部の戦国大名六角氏」	
・3月7日(土) 「写経と散策」	
・3月28日(土) 「水辺の散策」	

1～2月ガイド実績

	一般ガイド		歴史資料館		おおやまざき・なび		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
1～2月	11件	531人	145件	326人	—	—	156件	857人
2019年度累計	100件	2,621人	972件	2,306人	144件	380人	1,224件	5,548人

不安どきどきガイドレビュー (1年を振り返り)

待庵の模型を見に歴史資料館を訪れたことが縁で、「ふるさと案内人養成講座」を受講。本講座で、近隣に通勤していたにもかかわらず、全くこの地域について知らなかったことに気づかされました。実際の活動では資料館やJR山崎での案内、天王山ウォーキングなどの活動と会の勉強会や班会議などが多々あり勉強したり覚えたりすることが時間軸でも空間軸でも広範囲且つ深みがあることが分かりました。

リタイアしてゆるいボランティアを経験してきた私には活動が少しハードであったので少しゆるめていただけるとありがたいと思っています。

(1班 高崎 敬雄 記)

昨年3月の「水辺の散策」で本会の活動を知り入会してあっという間に9か月が過ぎました。特に9月からは、『なんでこんなに行事が多いのだろう』と思いつつ、先輩の背中を必死に追いかける毎日でした。

歴史資料館の福島館長はじめ歴史番組の先生の方々は、心の底から楽しそうに語ります。各地の観光地のボランティアさんも同様で、楽しそうな語りを聴くと、こちらも楽しくなります。私も『心から楽しんでもらえるガイド』を目指して2年目からもますます学習に励みたいと思います。よろしくお願ひいたします。

(3班 田口 准 記)

「天王山に登りたい!」という軽い気持ちでガイドの会に入りました。今まで大山崎に行く機会もなく、妙喜庵や宝積寺など歴史的建造物を訪れるのも初めてでした。「焦らなくてもいいのよ!」「大丈夫よ!」と先輩に励まされながらも不安でいっぱいです。

ある日の小学生ガイド。「しんどい!」「もう歩けへん!」の声に「お弁当、何入ってる?」「から揚げ!」「卵焼き」と小学生!「ガイドさん何歳?」「〇〇歳!」「年とってるけど新米やねん!」「へえ...?」気がついたら頂上!帰りがけ「ありがとう!」「楽しかったわ!」一緒に登っただけなのに何か嬉しい気持ちに。これがボランティアの喜びなのかな?がんばります。

(2班 森 圭子 記)

一昨年のふるさと養成講座を受講したのが始まりで、このガイドの会に入ってしまったのが運の尽き、大変な事に成っています。現役の時、人前で発表するのが嫌で嫌でやっと解放されたと思ってたら、今度はお客様をガイド?何とも皮肉な巡り合わせ。

先の企画展で案内した時、備中高松城の城主の名前が出てこない。相応寺のお坊さんの名前も忘れ、すみません少し待って下さいと慌ててカンニングペーパーを見て説明したら笑われてしまった。元来、歴史にまったく興味が無い者が説明しようとするので変な話です。次回からは、名前は省いて城主とかお坊さんで行こうと思っています。

(4班 森 稔 記)

公開歴史講演会

近世の淀川舟運と地域社会



2月24日(祝)、市立枚方宿鍵屋資料館学芸員、片山正彦氏の講演がありました。

淀川は古代から近世にかけて京都と大阪を結ぶ唯一の航路であり人や物の往来が盛んな物流基盤となっていた。大阪の物資や物産は京へ、京の文物は大阪へと運ばれ経済の大動脈としての役割を果たしていた。

江戸時代、淀川の三十石船が最盛期には一日320便、約9000人が往来したといわれている。又、淀川右岸には西国街道、左岸には京街道があり、街道沿いには宿場町が設けられて賑わった。大山崎は淀上荷船で淀川の本流・支流を媒介する役割を果たしていた。

河川舟運は物資だけでなく人や文化も運び自然には優しい運送手段であった。(4班 久保 恵子 記)

校外学習支援

大山崎小学校・3年生と歩く



2月20日(木)、ウォーキング日和の中、学校を出発。久しぶりのガイドに緊張したものの、子ども達にエネルギーをもらう。歴史は何も習っていないということで、どう説明するか悩んだが、こんな所にこんな物が、をすればよいのでは・・・と本当に大まかなことを話した。子ども達が一番興味を示したのが、寺社での手水の作法、参拝の仕方だったのには少し驚かされた。最初は神妙な顔で列を守り歩いてきた子ども達も時間と共にじゃれたり、大声で話すなどあったが、班長さんの注意に皆が従って皆がまとまっていたのでこれにも感心。子ども達に、お疲れさまでした～未来に期待!

(1班 木嶋 百世 記)

あちこち学習山歩

周山城跡



11月25日(月)、天正7年丹波平定の一拠点に光秀が築城した周山城跡に行きました。

紅葉真ただ中、さすがに名所高雄まではバスは超満員でした。雨予報でしたが傘を差すこともなく登山道から周山街道の雲海を望みながら登りました。

光秀の城の特徴「総石垣」の城で頂上付近は、高石垣に野面積みの荒々しさを感じました。今回のもう一つの目的は、光秀ゆかりの寺・慈眼寺で光秀の木像を見ることでした。この地域に善政を敷きその人柄を讃え崇拝の念から作られた座像は逆臣の汚名から墨で真っ黒に塗られ秘像として祀られていました。ご住職のくろみつ大雄尊としてのお話は興味深かったです。「国衆からみた光秀・藤孝」の企画展で見たくろみつ座像を我々は在るべきところで再度拝見しました。

昼食は、揚げたてのコロッケを頂きながら談笑し、バス時間まで老舗の羽田酒造で試飲をおおいに楽しみ帰路につきました。

(2班 村田 君代 記)

編集後記

1年間のご愛読に感謝します

平成31年度の最終号を発行します。本年度も合計6回を発行できました。貴重な情報を寄稿いただきました皆様方に厚くお礼申し上げます。(平成31年度 広報委員一同)

OFG日より次号は令和2年5月10日に発行します。